

所信表明文

(ア) 千葉大学大学院医学研究院小児外科学 菱木知郎

(イ) 平成5年医学部卒業

(ウ) 委員会活動歴・抱負

令和七年度理事への立候補にあたり、所信を述べさせていただきます。

私はこれまで本学会において庶務委員長、専門医認定委員長、機関誌委員長、規約委員長などを歴任し、学会運営に深く携わってまいりました。庶務委員長・副委員長としては8年間、諸先輩理事とともに理事会を通じて学会の円滑な運営に努めました。また新専門医制度への移行期に専門医認定委員長を拝命し、機構との折衝、他サブスペ領域との協働、会員の皆様への発信に注力いたしました。これらの重要な役割を通じた経験を活かし、学会のさらなる発展と次世代を担う小児外科医育成に尽力いたす所存です。

少子高齢化の加速と医師働き方改革によってもたらされたこの多様性の時代に適応するためのパラダイムシフトが学会にも求められています。山積するすべての課題に取り組む所存ではありますが、特に以下の課題に力を入れたいと考えています。

1) 小児外科医療提供体制の集約化と均てん化のあり方の検討

医療資源の最適な配置について、科学的データや現場の声に基づいて議論を展開し、全ての地域で持続発展が可能な小児外科診療体制の構築を目指します。

2) 働き方改革時代の小児外科医育成体制の構築

症例数の減少、多様なキャリアパスやライフステージのニーズに対応すべく研修カリキュラムの再評価を検討します。海外での研修機会の門戸を広げるなど、グローバル展開も視野に入れたいと思います。

3) 学会主導による研究体制の整備

日本の小児外科医の強みである科学的探究心に立脚した診療の基盤となるリサーチマインドの醸成のために、研究の機会を学会が主体となり仲介するシステムや、学会主導臨床研究の支援体制の整備を目指したいと考えています。

学会は会員の皆様ための組織です。浅学非才の身ではございますが、皆様の声を反映させた実効性のある運営を目指し尽力いたす所存ですので、何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。